



3月市議会定例会の初日に施政方針演説が行われました

経済を根本からゆるがすオイルショック

すでにわが国は、四十八年の第一次オイルショックによる物価暴落を経験し、高度成長経済から一転して減速経済への転換を余儀なくされました。そして今、オペック（石油輸出機構）を中心とする原油価格の大幅値上げやイラン紛争をきっかけとして、原油価格は一年間に二倍以上に高騰し、第二次オイルショックに見舞われています。引き続き高水準のインフレと国際収支の悪化、景気の停滞などに影響しているわけですが、これらの結果が外部要因に依るものとはいえ、この構造的悪循環を断ち切り、克服することは国民的課題といつていいでしょう。

この意味で、八〇年代はまたこれまでの政治、経済、社会の「転換と改革の時代」であるともいわれています。政治・経済制度の改革はもとより、エネルギー政策、産業構造の転換、あるいは国民生活における価値観や生活構造など、社会全体の体質的変革が要求されているのであり、その政治的側面として「地方の時代」、「集ちから分散へ」という指向に基づく、一連の政策が展開されようとしているものと思われまふ。

公共料金引き上げで 狂乱物価の再現も：

このような内外の局面のなかで、政府は昭和五十五年国家予算を編成するにあたり、その前提として、昨年末、「昭和五十五年の経済見通しと経済運営の基本的態度」を発表しました。これによると、次の五つの政策課題を掲げています。①物価の安定 ②景気の維持と雇用の安定 ③国際協調の推進と自由貿易体制の維持強化 ④エネルギー制約への対応 ⑤行、財政の刷新、再建

一方、経済見通しでは、国民総生産を二百四十七兆八千億円で、(1)実質経済成長率は五十四年度の六・〇％から四・八％に減速する (2)卸売物価は九・三％消費物価は六・四％の上昇率 (3)国際収支の赤字九十億ドル——と見込んでいるようです。しかし、石油事情など現下の社会経済環境のもとでは四・八％

不透明な時代だけに 確かな足どりで

昭和五十五年 施政方針

三月市議会定例会が三月十二日から開かれ、開会の冒頭、志田市長は、当面する市政の諸問題についての施政方針説明を行いました。この中で市長は、最近の社会経済情勢は非常に厳しいが、生活環境基盤の整備など四つの柱をもとに、工夫をこらしながらまちづくりを進めていきたい——などと表明しました。

以下、施政方針を掲載しますが、このあと続いて説明された昭和五十五年予算のあらまし、ほかの議案などの内容は、次号以下の「広報にいっ」でお知らせする予定です。(一部読みやすくしたか所もあります)

激動の七〇年代から 危機の八〇年代へ

昭和五十五年三月市議会定例会の開会にあたり、私の所信の一端と新年度における市政の方針を申し述べ、議員各位をはじめ市民のご理解とご協力によって、より一層の市政の伸展を期待するものであります。

ご承知のように、国際情勢は極めて不安定です。イラン情勢をはじめとする中東諸国の動静が、資源をそれらの国々をはじめ海外に依存するわが国に直接大きな

な影響を及ぼしており、まことに憂慮せざるを得ません。また、アフガニスタン問題や東南アジア情勢なども、一触即発という緊迫した状況下にあります。これら国際間の政情や経済不安が、貿易立国でもあるわが国に直接、間接的に及ぼす影響は非常に大きく、常に注視していかなければならないと思います。

さて、昭和五十五年は一九八〇年代の幕開けの年です。しかし、今日の高度化社会の基をつくりだした、いわゆる「黄金の六〇年代」から「激動の七〇年代」を経て、これからの八〇年代は、何が起ころかわからない「不透明・不確実性の時代」といわれており、わが国にとって「危機の八〇年代」ともいわれています。食糧、エネルギー、工業原材料など、国民経済の基幹物資の輸入依存度が高いわが国だけに、ことさらに不安と危機感を抱くべきを得ません。

の成長率は不可能に近く、消費者物価の上昇率も、電力・ガスをはじめ公共料金の引き上げによって、六・四％程度に抑えることはむずかしいといわれています。財政・金融政策、その他経済管理手段を持つ政府の、今後の財政運営を期待したいと思ひます。

依然として借金体質 の色が濃い国家予算

こうした諸条件を踏まえての昭和五十五年の国の一般会計予算案は、総額四十二兆五千八百八十八億円(対前年度比一〇・三％増)と二十一年ぶりの低い伸び率になりました。歳入にあつては、昨年の総選挙の結果から大型増税は見送られ、既存税制の改正、経費の節減などで対処し、同時に国債で十四兆二千七百億円(対前年度比六・五％減)を補填することとしています。五十四年度の国債発行額よりも一兆円減額し、五十五年度を「財政再建元年」にしようということです。が、依存率は依然として三・五％と高く、このうち七兆四千八百五十億円は赤字国債です。これまでの国債発行残高からみて、一層財政インフレが進行するのではないかと懸念されます。

また歳出の面においては、年金関係など社会保障費は、八兆二千二百一十四億円(対前年度比七・七％増)と国債費、地方交付税を除いた一般歳出の三十兆七千

お買物、ご用命は市内で

新津大坂屋は和菓子の長い歴史と伝統で
新しい和菓子お菓子を作り上げ
ました。ぜひご賞味ください。

1ヶ150円 10ヶ入1,600円 15ヶ入24,000円 20ヶ入3,200円

お・サカヤ

本町2 ☎(2)-0112

お買物、ご用命は市内で

室内装飾・美術表装・襖・壁・額

表具 一心

一級技能士 鈴木正義 本町3 ☎2-2035

越後天然ガス料理教室へのお誘い

55年度第一期4月～5月(毎月第2・第4木曜日4回コース)

- 時間 午前11:00～午後1:00
- 参加費 4回分2,000円(材料費・テキスト代等含む)
- 募集人数 20名(定員になりしだい締切りいたします)
- 場所 新津アカデミー(柴田商店2階)本町3

お問い合わせ・お申し込み ☎越後天然ガスへ
営業課 (TEL 4-2171) へ